

御

牙

櫻

梅

第五編

鶴亭秀賀作

一壽齋國貞画



上梓

~ 13
3722
9



花



御ご

梅うめ

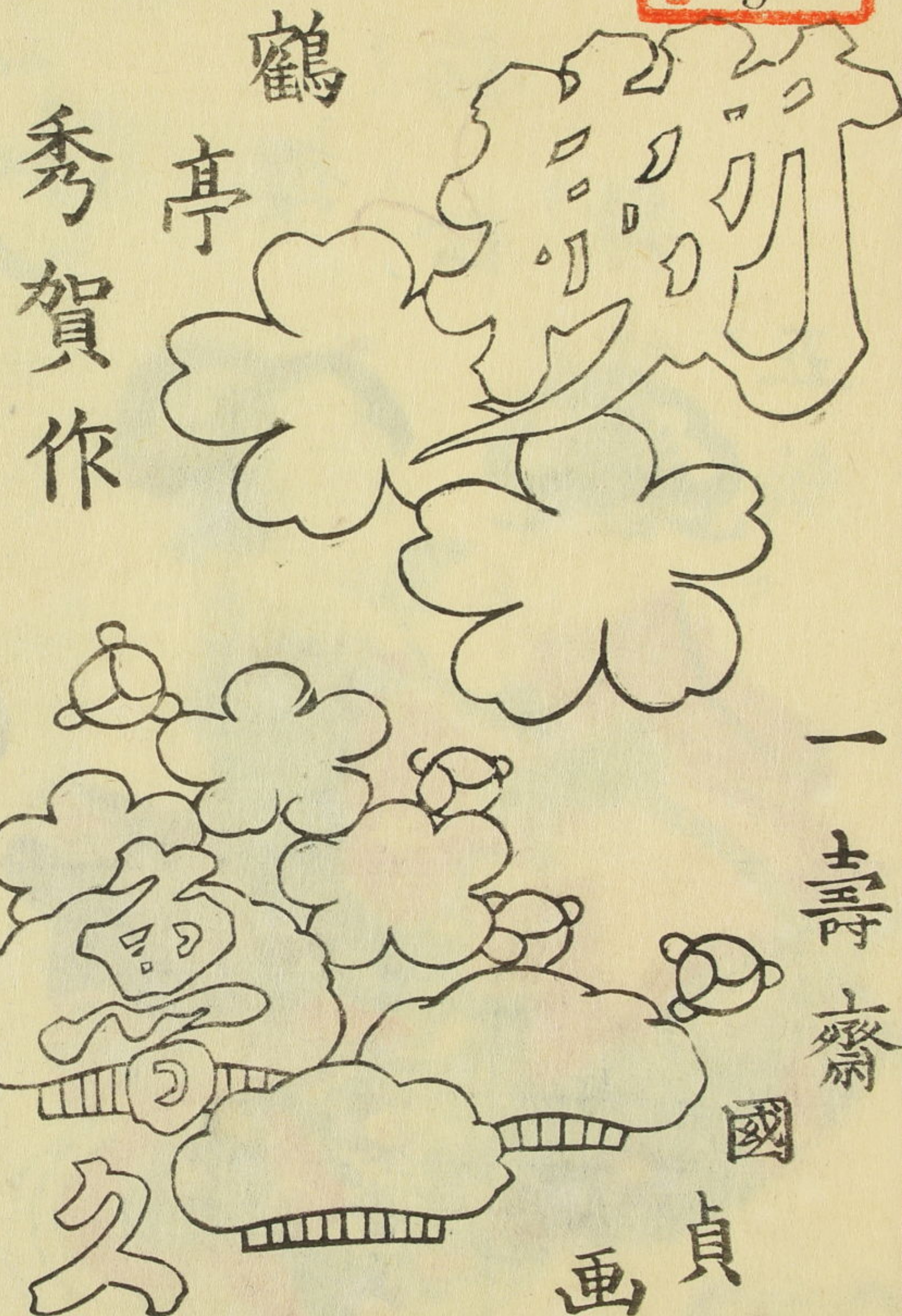
所ところ

櫻おうしん

録ろく松しょう

五ご第だい
編へん





一 壽齋

國

貞画

秀賀作

鶴

亭



御所櫻

梅松録五編叙

二余家の三代集傳授ふ言源氏物語ハ虚を實ふ書たり。

伊勢物語ハ實を虚よ作ると有是るん花間の風花あはせて

聲一花如く花を實とせば風虚也亦風を實と為バ花虚ありと

量虚實共備とバ社愛度物語とあるまう。而小僕其風の白ふ欵

將花の白ふ欵虚實ふ差別の有と不知無暗ふ嘗拜る筆糟也于粵

寓言百葉の五編と巻を重なる梅松録の緒言ふ不明利窟と書散

去て儉半丁の余地を埋むと爾言。

文久二壬戌歳青陽



鶴亭秀賀識



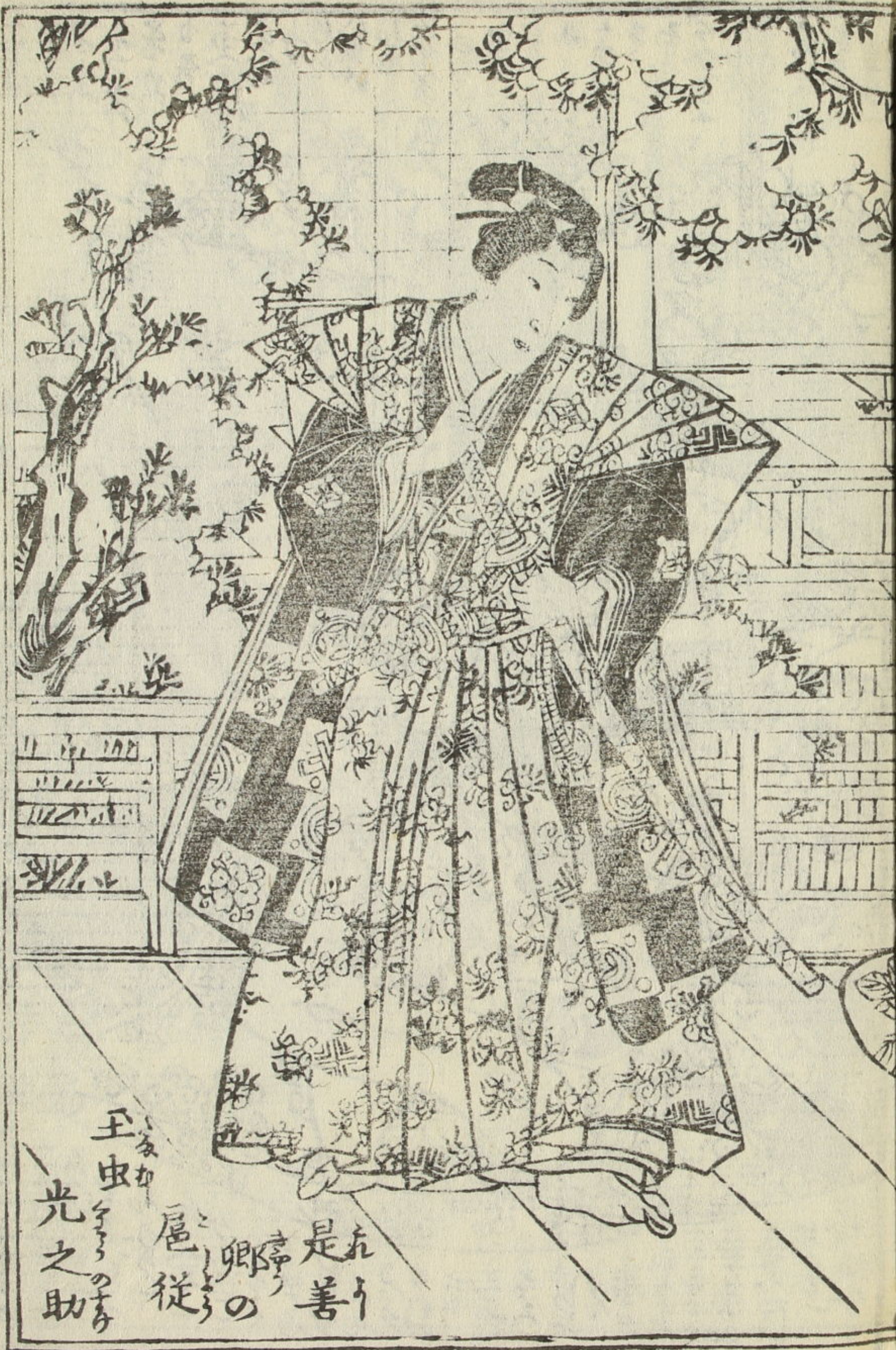


花次

花次



横島曲



玉虫 是乃善
 光之助 扈從の



松前 了
 草子 髪

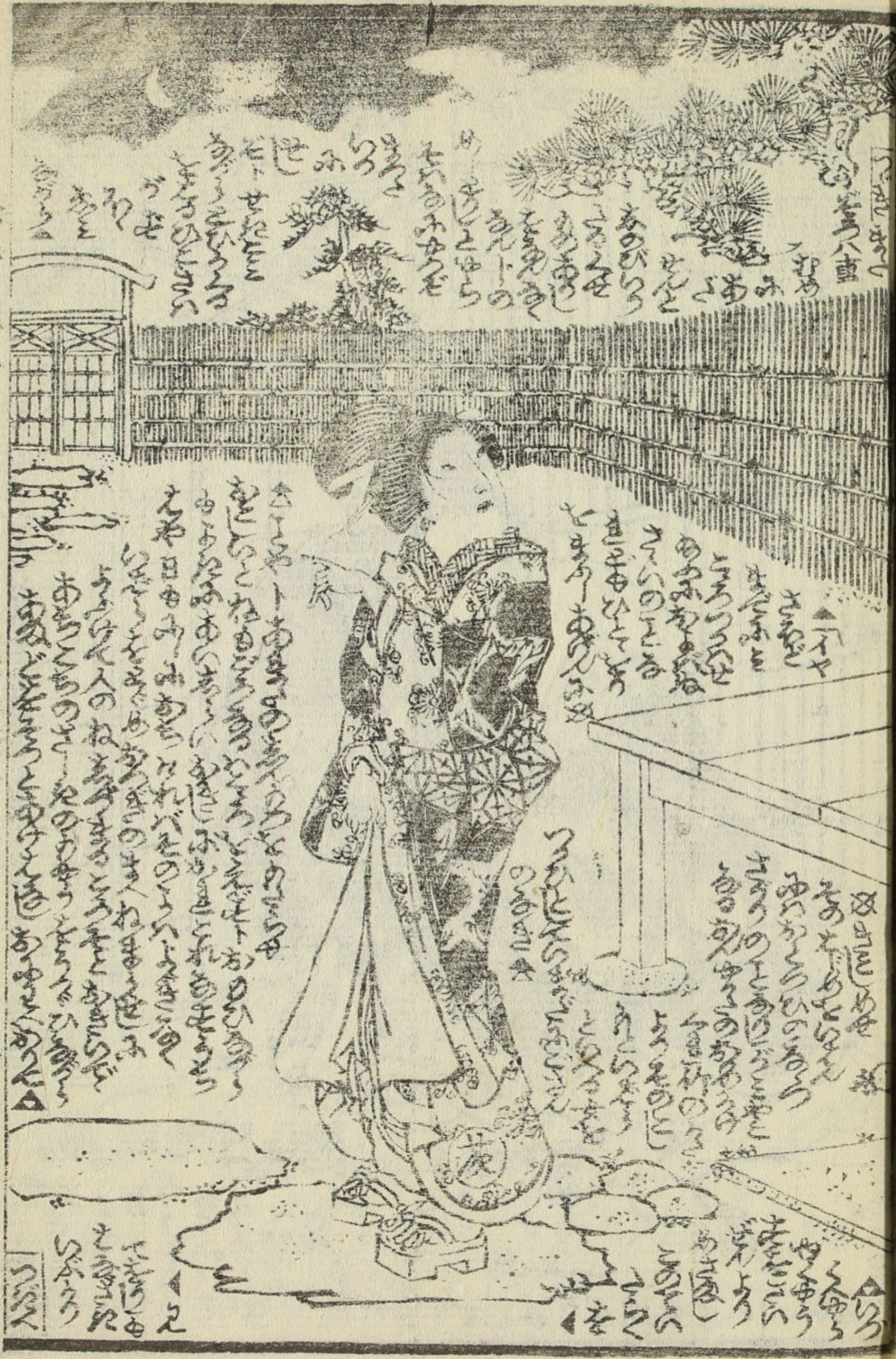


海公抄

四



本林録



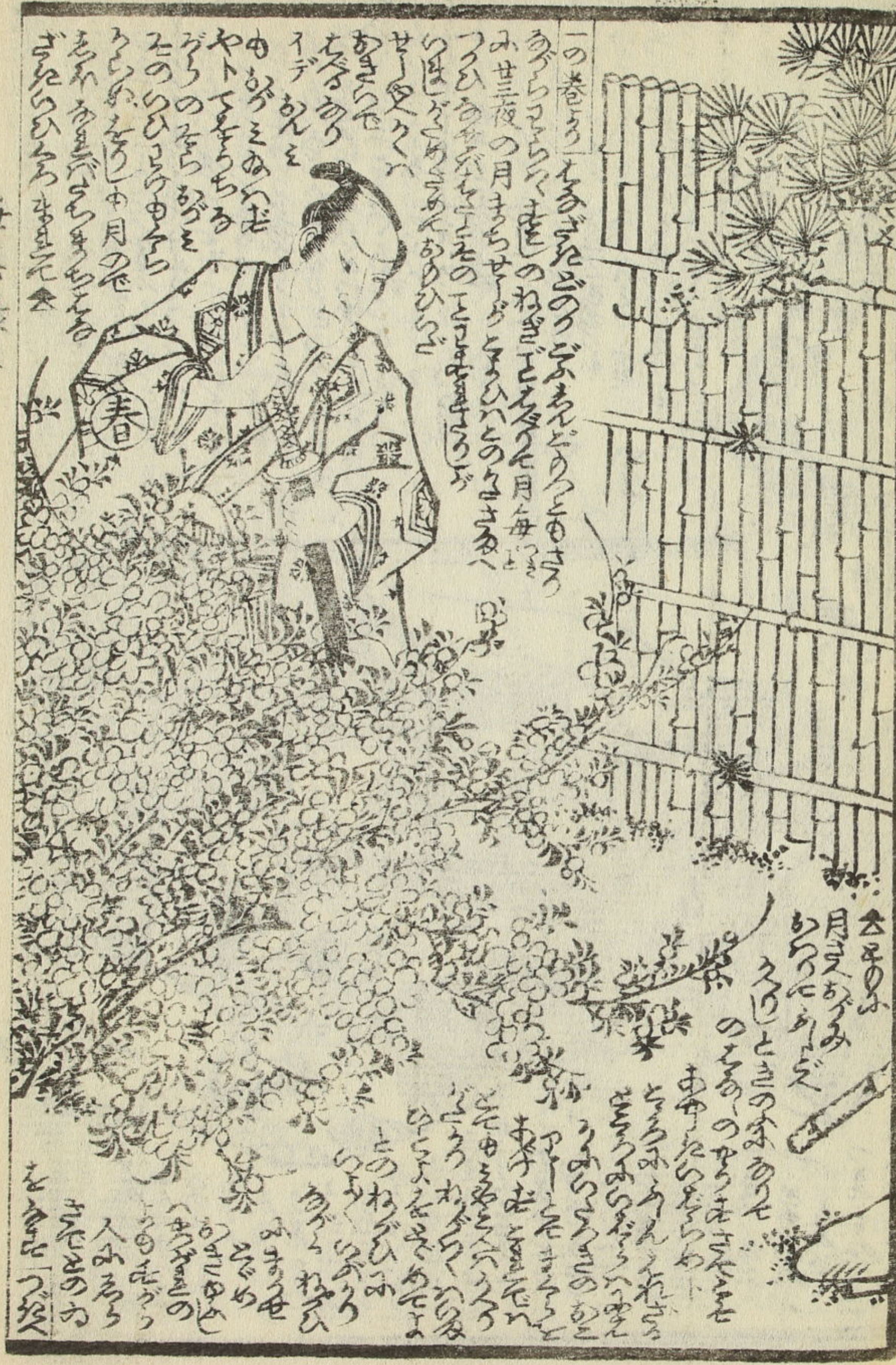
春の夜更け

14



春の夜更け

15



一の春は...
 二の春は...
 三の春は...
 四の春は...
 五の春は...
 六の春は...
 七の春は...
 八の春は...
 九の春は...
 十の春は...

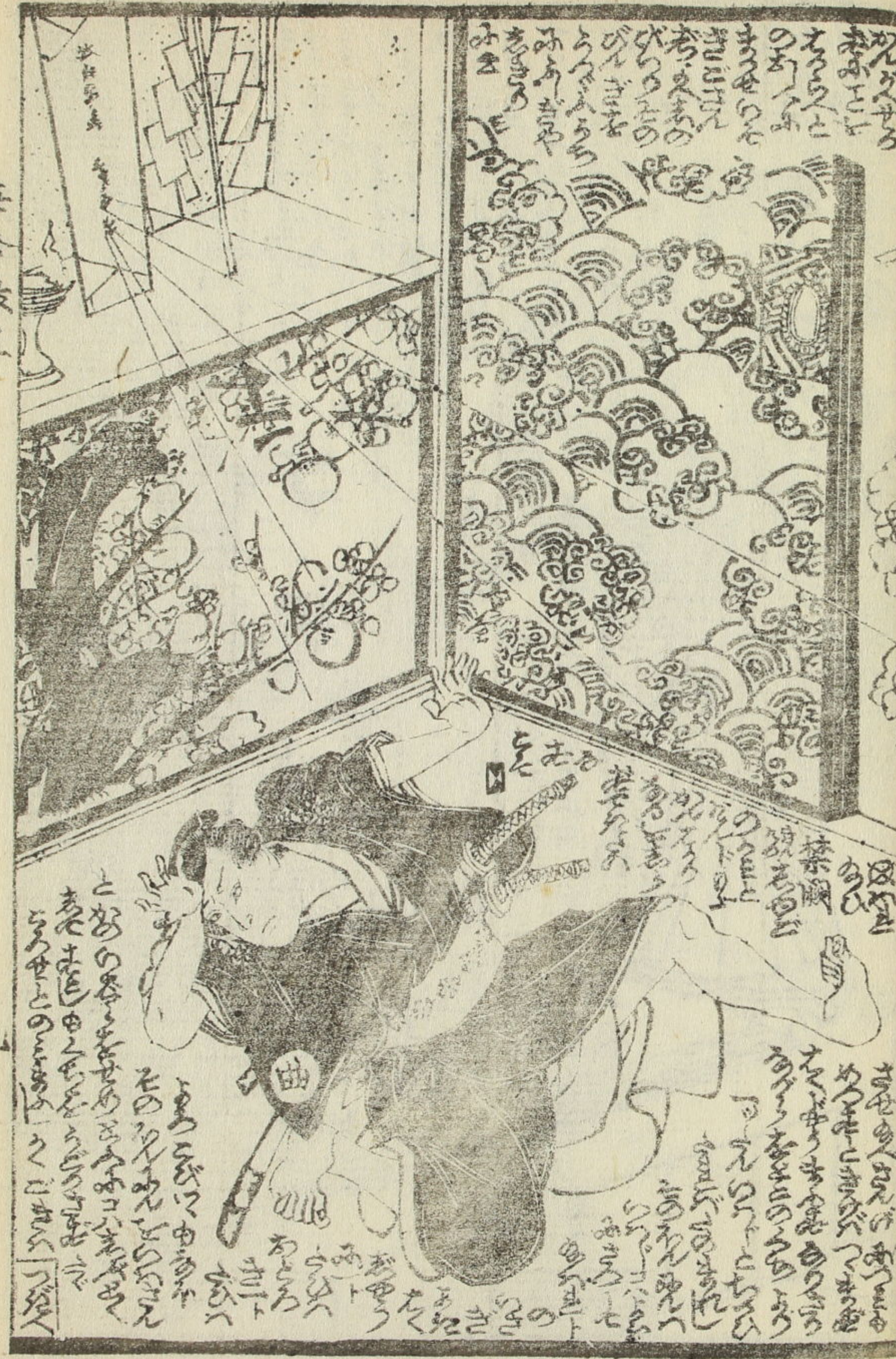
春の月



一の春は...
 二の春は...
 三の春は...
 四の春は...
 五の春は...
 六の春は...
 七の春は...
 八の春は...
 九の春は...
 十の春は...

曲の月

一の春は...
 二の春は...
 三の春は...
 四の春は...
 五の春は...
 六の春は...
 七の春は...
 八の春は...
 九の春は...
 十の春は...



海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回

海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回



海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回

海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回
 海公伝
 第一回



この女は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...

この女は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...

この女は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...



この男は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...

この男は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...

この男は... 浮世草子... 新編... 浮世草子... 新編...

つぎに本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて
また本村録五の由りてあるものありて

秀賀作

秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて



國貞画

秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて
秀賀作の由りてあるものありて

島	鮮	堂	畫	帖	折	本	録
善惡教訓圖解	大日本神社佛閣全	東海道五十次全	徳川年代記事全	古今名婦傳全	花統東京名所全	龜地本錦繪問屋	島鮮堂 網島龜吉
善惡雅表訓全	俳優忠臣藏全	花鳥かぶき全	書經之圖全	命養生善惡鏡全	開化東京名所全		
芳	周	房	周	房	廣		
上	重	重	重	重	重		
藤	重	重	重	重	重		

